

# パレスチナ問題のなかのエルサレム

## — イスラーム運動の関わりを中心に —

平成 25 年入学

派遣先国：ヨルダン，イスラエル

山本 健介

キーワード：エルサレム，聖地，イスラーム運動

### 対象とする問題の概要

筆者の問題関心は、パレスチナの諸聖地をめぐる紛争の形成と現代的展開であり、特に、エルサレムにおいてムスリムがいかなる抵抗運動を実践しているのかという点に着目している。

エルサレムをめぐる紛争（エルサレム問題）は、パレスチナ問題のなかでも中心的課題として重要視されている。その第一の側面は、イスラエルとパレスチナ自治政府の間での主権争いである。2001 年の和平交渉では互いがかなりの程度の譲歩を示し、問題解決に近づいたと言われるが、それ以降、2015 年現在まで、エルサレム問題をめぐる政治交渉は停止している。また第二の側面は、宗教的な聖地の管理権やアクセス権をめぐる問題であり、関与するアクターには、イスラエルやパレスチナ自治政府に限られず、イスラーム協力機構（OIC）やヴァチカンなどの国際的な宗教勢力も含まれる。筆者の関心は、エルサレム問題の後者の側面である。

### 研究目的

筆者の現在の関心は、聖地をめぐる問題のムスリム側の抵抗のなかでも、イスラエル領内のイスラーム運動の動向にある。このイスラーム運動は、イスラエル領内のパレスチナ人を中心に民衆の支持基盤を確立しており、ムスリム側のアクターのなかでも最も大きな影響力を持つ運動であると言える。この組織がエルサレム問題の中でどのような活動を実践しているのかという点を明らかにすることが筆者の研究目的である。

エルサレムの聖地問題においてパレスチナ人勢力が一定の影響を持つという現象は新しいものである。エルサレムは、1948 年から 67 年までヨルダン統治下であり、1967 年にイスラエルが占領を開始した後も、イスラームの聖地はヨルダン政府の管理下に置かれ、現在に至っている。ヨルダン政府の聖地への関わりが徐々に低下していくと同時に、2000 年頃から草の根レベルの動きとして、イスラエル領内のイスラーム運動の存在感が増大し、イスラエル政府も警戒感を強めている。

### フィールドワークから得られた知見について

本渡航では、第一に、エルサレムにおけるイスラーム運動の活動に関して聞き取り調査を行い、第二に、ユダヤ、イスラーム共通の聖地における信仰実践について予備的調査を行った。

第一に、筆者は、イスラーム運動の関連組織のなかでも、エルサレムでの聖地問題において大きな役割を担っている「ワクフと伝統のためのアクサー協会」を訪れた。そこで、組織の沿革や過去の活動について書かれた多くの文献資料を得た。また、実際の活動状況について聞き取りを行い、近年では、ム

スリムの墓地を荒廃から守り、修繕を施す活動が盛んに実践されていることが明らかとなった。さらに、イスラーム第三の聖地である阿克サー・モスクについては、ムスリムの権利を保護するために、多くのムスリムが阿克サーへ訪れ、結びつきを維持することが何よりも重要であるという見解を聞くことが出来た。

次に、筆者は、ユダヤ、イスラーム共通の聖地における信仰実践に関して、エルサレムのダヴィデ廟、さらに比較のためにハイファのエリアの洞窟において調査を行った。三大一神教の共通の預言者であるダヴィデの廟は、イスラエルが建国された 1948 年にすでにイスラエル領内に組み込まれており、過去にモスクであった痕跡は建物内にかすかに残されているものの、ヘブライ語の装飾で埋め尽くされ、ムスリムが参詣していた過去を知ることは容易でない様子であった。

ハイファのエリアの洞窟は、預言者エリアが一時逃げ込んだ逸話が残る洞窟であり、古くから三大一神教の聖地として知られてきた。ここでも、ヘブライ語のユダヤ的装飾が全体に見られるものの、洞窟内に三宗教の聖地であったことを示す写真資料やアラビア語での標記などもあり、他宗教への配慮が垣間見られた。これらの事例から、ユダヤ、イスラームの聖地における双方の信徒の関係性は聖地によって細やかな差異があり、完全にユダヤ教の宗教施設となった場合にも、そのなかで多様性がある点が明らかとなった。

#### 今後の展開・反省点

今回の渡航では、博士論文で新たに取り上げるエルサレムの事例のなかでもイスラーム運動の動きを中心に調査した。彼らの運動は、政治的な側面が過度に取り上げられる傾向にあり、モスクの改修など社会活動の部類に属するものについては十分な関心が寄せられていないため、今後もそうした点に注目して分析を進める必要がある。また、ユダヤ、イスラーム共通の聖地における信仰実践などについての予備的調査を行った結果、イスラーム運動のような政治／社会運動と一般信徒の意識を包括するような視点の必要性を感じた。以降の調査での新たな研究課題としたい。



ダヴィデ廟で信仰に励むユダヤ教徒（エルサレム市、2015年10月10日）



エリアの洞窟における三大一神教の信仰実践の歴史を示す写真（ハイファ市、2015年9月30日）



アクサー・モスクへ向かうムスリムとイスラエル治安当局との衝突  
（エルサレム旧市街、2015年10月2日）